

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/  
E-mail:gyoren@kagawa-  
gyoren.or.jp



**JF** 高松市北浜町 8 - 25  
TEL 087-825-0350  
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

# 謹賀新年

## 香川県漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運営につきまして、格別のご協力を賜りありがとうございました。

さて、わが国の経済は回復基調にあり、景気拡大は「いざなぎ」に並ぶ

といわれていますが、われわれ水産業界は、資源の減少、輸入水産物の増大、就業者の減少や高齢化・後継者不足等により、その景気拡大を実感するには程遠い状況にあります。

とりわけ、本県の漁業は、魚価の低迷・販売不振、ノリ養殖における色落ちの問題、更には近年頻発する高潮被害等の自然災害により厳しい状況が続いています。また、最近の燃油価格の異常な高騰により漁家の経営は更に苦しくなっております。とくに、昨年末豊島沖でのタンカー衝突事故によるノリ漁場の油濁被害につきましては、今漁期の初摘採直前でありノリ養殖漁業者にとっては大打撃でありました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

このような情勢の下で、昨年10月に水産基本政策の確立を求める全国漁民大会が東京で開催され、今年予定されている水産基本計画の見直しや指定漁業許可の一斉更新などを契機として、漁業・漁村の再生に向けた水産施策の抜本的強化を求める決議を行うとともに、次期参議員選挙にオール水産の独自候補としてJF兵庫漁連前会長の丸一よしのり氏を推薦することが決定されました。丸一よしのり氏は、チリメン、イカナゴ漁を

営む根っからの漁業者であり、こうした水産業の窮状を肌で痛感している我々の仲間を国政の場に送り出し、浜の声を国政に届けるために、我々JFグループは全力で丸一候補を応援致しますので、皆様方の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

県漁連といたしましては、本県水産業が抱える諸問題を克服し、将来に向けて安定的に発展させていくために、養殖業の積極的展開と、栽培漁業と資源管理型漁業の有機的な連携、新たな流通システムの構築等により、つくり育てて売る漁業や安全・安心な水産物を消費者に提供する地産地消運動および子供たちに水産物のおいしさと栄養を学んでもらう食育を推進し、地域に根ざした活力ある香川型漁業を確立することが急務であると考えております。また、漁業生産の源である豊かな海の環境保全について、県民あげての運動として取り組むとともに、海難事故の防止や漁業と海洋性レクリエーションとの共存をめざす海面利用の適正化に取り組む必要があります。漁業基盤の強化を推進し、担い手の確保や都市住民との交流などに取り組み、うるおいとにぎわいのある漁業地域づくりを進めていくことも今後の重要な課題です。

また、本県の漁協合併は着実に前進し、一昨年の本会通常総会で決議された「1県1漁協を最終目標とした合併等基本計画を完遂する」ことに向けて取り組みが進められております。

本年も、厳しい経営環境が予想されるなか、会員・所属員の経済的、社会的地位の一層の向上を目指して諸事業に取り組んで参る所存でありますので、会員各位をはじめ関係者諸賢におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。次第であります。

最後に、皆様方の限りないご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



## 香川県かん水養殖漁業協同組合

### 代表理事組合長 嶋野 勝路



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済は、いざなぎ越えと絶賛された政府の景気報道が続きましたが水産業、とりわけ魚類養殖業界にとって夢のような報道であり、その

気配を実感することなく1年が経過しました。

顧みますと、昨年は春先からカンパチの浜値が高騰して、久し振りに明るい兆しが見え始め、ハマチ、マダイにも価格の回復が見られたものの、種苗購入時においてカンパチは高値取引を余儀なくされました。

その結果、県内産出荷時において、春先の高値から、スーパー・量販店が商材からはずし数量が伸びず、12月には約50,000尾程を種苗販売するにあたり、漁連扱い分については組合員皆様に販売補填金として、ご協力頂き12月23日に完売したところであります。

ハマチ、マダイについては、生産コストに見合う価格で推移して、収支はまずまずであり、県内養殖業は全般的に見れば良好であったと思う次第です。然しながら、養殖魚を取り巻く環境は依然として厳しく、燃油高騰に続き、魚粉にいたっては、南米ペルー、チリに依存しているため、中国の畜産需用の伸びから高騰を続けており、飼料メーカーは昨年6月に続き、年明け早々の再値上げを示唆しております。

飼料価格は昨年漁期前より3割高となり、本年度の養殖経営に打撃を与えるのは必至であり、大いに懸念致しているところです。

また、流通構造の変革から、スーパー・量販店が主導となり、浜価格が高騰すれば、必ず価格反動が起り、消費が激減してくるため価格を下げざるをえない状況となっております。

計画生産を遂行して安定生産、安定供給、コストに見合った安定価格なくして養殖業の明日はないと、全海水の会員に声を大にして訴えて参りましたが、再度呼びかけて参りたい。

とりわけ、国においても水産基本政策の見直しから、長年の懸案であった経営安定対策の一環として、現行養殖共済の上乗せで、基金積立方式を平成20

年度から導入を予定しており、全海水が要望していた収穫高方式については、今後更に検討をしていく方向であり、全国の浜で額に汗している大勢の仲間、組合員の為にも、粘り強く悲願達成に向け、水産庁、並びに国会議員に陳情をして参る所存です。

最後に、激動する時代の中で、食糧産業の一翼を担う生産者として、厳しい状況に変わりありませんが、前浜に活気が戻り、漁家経営の安定に向け香川県かん水役職員一同、精一杯心を新たに取組んで参る所存でありますので、尚一層のご理解・ご協力を組合員皆様をお願い申し上げます。

## 香川県海苔養殖研究会

### 会長 森 朝征



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返って見ますと、昨年度は漁期開始の12月こそ順調に水揚げされましたが、急激な水温低下とユーカンピアの大量発生により栄養塩が低下

し、色落ちが急速に進み、ほとんどの組合で1月末での終漁という最悪の結果に終わりました。加えて中国・韓国の輸入ノリの増加、燃油の更なる高騰等の外圧もあり、ノリ生産漁家の皆様の困窮は、想像にあまりあるものがございます。

こういった状況の中9月には「香川県海苔養殖総合対策検討委員会」が発足され、行政・系統団体・生産者が一体となり、ノリ養殖を取り巻く諸問題を少しでも解決すべく活動を開始いたしております。即効薬となる妙案はなかなか見つからないとは思いますが、当研究会会員の皆様のご協力を仰ぎながら前進を続けて参りたいと思います。

先程触れました輸入ノリに対抗するためには、今盛んに言われている「食の安心・安全」をクリアできる製品作りが最善と思われます。そのためには、生産者一人一人が異物除去等、細心の注意を払って生産に取り組むことが肝要になります。今まで以上の努力を払われるよう、切にお願い申し上げます。

本年度漁期は育苗時期に水温が高く、育苗に随分ご苦労されたことと思います。ただ本年の場合一部の地域を除き、栄養塩が高めに推移しており、今後



の生産に大いに期待をしているところでございます。  
 しかしながら、昨年11月28日に豊島沖にてタンカーと貨物船の衝突事故があり、流出した重油により、少なからぬ範囲でノリ網が被害を受けました。さあこれからというときに、被害にあわれた生産者の皆様には、心よりお見舞い申し上げる次第です。  
 最後になりましたが、ノリ関係各位のご健勝ご多幸と、18年度漁期の豊作をご祈念申し上げますとともに、皆様のなご一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

## 香川県無線漁業協同組合

### 代表理事会長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。平成19年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。  
 旧年中は、当組合の運営につきまして、多大なるご協力とご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。本年も、漁業無線の維持発展のために、より一層の深いご理解とご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。  
 さて、操業中の不慮の事故は後を絶たず、気象海況の急激な変化により身の危険を感じられたこともあるかと存じます。漁船の衝突事故等は、昨年においても多発しております。改めて、漁業者が自身の身を守るために救命胴衣を着用されますとともに、緊急時における最も確実な通信手段として、漁業無線を十分に活用されますことを願う次第です。  
 また、超短波漁業無線を積載している漁船の乗組員が海中に転落した際、携帯する小型発信器から自動的に救急信号と位置データを海岸局へ発信し、自船も自動的に停止する「小型漁船緊急通報システム」が、平成18年6月から長崎県で運用が始められております。本県においても、このシステムについて、検討していきたいと考えております。  
 海上で操業する漁船と陸上との通信基盤としての漁業無線は、操業の安全と効率化による生産性の向上及び貴重な人命の確保という重要な役割を担っていると認識し、当組合としては本県の重要な基幹漁業である漁船漁業の発展のため、今後も地道な努力を続ける所存でございます。つきましては、組合員各位におかれましては、本年も格段のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。  
 終わりに、組合員並びに系統関係者の皆様方のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## 社団法人 香川県水産振興協会

### 会長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。  
 平成19年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。  
 昨年中は、本協会の業務推進につきましては、会員並びに関係者皆様には格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成18年度の本協会事業は、資源生産向上対策、漁業操業安全等対策、流通・消費対策、漁場環境保全対策を中心に積極的に推進してまいりました。  
 その中でも、関係機関の協力を得て実施するヒラメの放流効果実証事業が2ヵ年計画でスタートし、長年の課題であった放流効果を科学的に実証できるものと期待しており、今後の放流事業に生かしていきたいと考えております。

また、操業安全対策事業では、昨年度も不幸にも海難死亡事故案件が3件発生しました。そのうち1件は新規で対象外となりましたが、昨年本協会が制定した対策事業(補助事業)で対応することが出来ました。  
 その他、流通・消費対策事業では、各地で「水産食育教室」を開催し食育の理解を推進し、また引き続き県内外でフェア、懇談会の開催等や県産ハマチの学校給食普及事業を実施し、地産地消の推進や県内水産物の消費拡大推進等を図ることが出来ました。

平成19年度も、引き続き本協会の中核事業である大型種苗放流事業を始め、操業安全対策事業や漁場環境保全対策事業など各事業の一層の充実に努めることとし、県内水産物の振興に寄与する所存ですので、本年も格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、平成19年度が皆様方にとって良い年となりますよう祈願し、併せて会員並びに関係者の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



## 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 植村 正 治

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、全国津々浦々でご活躍中の組合員の皆様並びにJFグループの皆様にご挨拶を申し上げます。

水産業界を取り巻く環境は依然として厳しく、漁業・JF経営も困難を余儀なくされておりますが、歴史と伝統を持ったJFグループに力を結集し、総力を挙げてこの難局を乗り越えていかなければならない、と決意を新たにしております。

特に今年予定される水産基本計画の見直し、指定漁業許可の一斉更新などを契機として、漁業・漁村の再生に向けて水産施策を抜本的に強化するためには、政官民が一体となって、思いきった構造改革に取り組まなければなりません。

このような情勢の下で、JFグループは昨年10月の「水産基本政策の確立を求める全国漁民大会」において、新たな経営安定政策の確立、漁業金融円滑化政策の拡充、水産業・漁村の多面的機能増進支援政策の創設、資源状況に見合った生産構造の確立、棲み分けの原則に基づく調整問題の早期解決、の5項目を採択し、現在、その実現に向け組織の総力を挙げて取り組んでいるところであります。

また、このような施策を実現していくためには、水産政治力の結集を図り、浜の声を直接国政に反映し、漁業・漁村の再生に政治の光を当てることが不可欠であることから、次期参議院選挙にオール水産の独自推薦候補を擁立することを満場一致で採択し、推薦候補者として前JF兵庫漁連会長の丸一よしのりさんを支援して行くことを決定いたしました。

景気は好調を持続しているといわれておりますが、この景気に触発され、水産業界がもっともっと好調に循環し明るい話題が出てくるようないい年となりますよう祈念しております。

JF全漁連と致しましても経営再建に向けて中期経営改善計画を達成し、組合員・会員の皆様をはじめ社会からも信頼される組織・事業改革に向けて役員一丸となって一層の努力を傾注してまいり所存であります。とりわけ会員の皆様方には、経営的観点から、また事業推進上からもご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年が皆様方にとりまして良い年でありますよう念願し、海上安全と一層のご繁栄・ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

## 乾ノリ初入札!

平成18年度県内産養殖ノリ(乾海苔)の初入札会が、12月9日(土)高松市瀬戸内町の本会共販所において、30商社80名の参加を得て開催された。県下8漁協から出品があり共販枚数634万枚、平均単価11.33円であった。

なお、第2回共販は12月25日(月)に実施され、共販枚数4,964万枚、平均単価10.19円であった。

今後、県下全地区で本格生産に入るが、今漁期は栄養塩もまずまずあり豊作を期待したい。



初入札の風景

### 主な行事予定(1/1~1/31)

- 1月4日(木) 仕事始め
- 5日(金) 新年初市祈願祭(中央卸売市場)
- 8日(月) 第3回乾のり入札
- 18日(木) 第4回乾のり入札
- 25日(木) 税務研修会
- 27日(土) 第5回乾のり入札